

平成29年度事業報告書

公益社団法人かごしま犯罪被害者支援センター

1 相談事業（別紙「平成29年度活動状況総計（平成29年4月～平成30年3月末）」のとおり）

(1) 相談受理状況：総計 477 件 ※活動延人員 1,299 名

① 相談区分

区分	電話	面接	その他(メール・手紙)	総計
件数	370	87	20	477

② 相談内容

区分	殺人	強盗	性被害	暴行 傷害	その他 の犯罪	交通 事故	財産 被害	DV	ストーカー	虐待	その他	総計
件数	42	8	171	86	5	28	30	29	10	7	61	477

(2) 直接支援活動状況：総計 61 件 ※活動延人員 137 名

種別	件数	支援の詳細
裁判関連支援	24	裁判付添い、傍聴席確保、代理傍聴、証人・意見陳述の付添い、意見陳述のための情報提供、記者会見の支援、関係者等との連絡・調整等
法律相談支援	10	法律相談の付添い・送迎、弁護士との連絡・調整等
警察関連支援	8	事情聴取の付添い、各種手続きの支援、警察官との連絡・調整等
検察関連支援	5	検察庁への付添い、関係者等との連絡・調整、事情聴取の付添い等
病院等付添	5	病院への付添い、病院関係者等との連絡・調整
物品供与・貸与	3	防犯ブザー・防犯スプレー、センター所有の物品の供与又は貸与
その他	6	上記に該当しない支援
合計	61	

(3) 専門家相談

- ・ 法律相談 10 件
- ・ 心理カウンセリング 24 件

(4) 供花等 6 件

(5) 警察情報提供 13 件

	罪 種	主 な 支 援 内 容
1	傷害	電話相談、裁判代理傍聴、法律相談付添い、警察・検察庁との連絡調整等
2	傷害	電話・面接相談、病院付添い・送迎支援等
3	強制性交等	電話・面接相談、警察付添い等
4	強制わいせつ	電話・面接相談、検察庁・裁判付添い、警察・検察庁・弁護士との連絡調整等
5	強制性交等	電話相談、カウンセリング、警察との連絡調整等
6	殺人	電話・面接相談、裁判付添い、検察庁との連絡調整等
7	殺人	電話・面接相談、カウンセリング等
8	殺人未遂	電話・面接相談、カウンセリング、警察との連絡調整等
9	強制性交等	電話・面接相談、検察庁付添い、検察庁との連絡調整等
10	強制わいせつ	電話・面接相談、警察との連絡調整、法律相談付添い・送迎等
11	強制性交等	電話・面接相談、弁護士・病院紹介、警察との連絡調整等
12	傷害	電話・面接相談、裁判付添い、警察との連絡調整等
13	監護者性交等	電話、警察との連絡調整等

2 関係機関・団体等との連携による被害者支援

(1) 警察等との連携及び情報提供

○ 警察署被害者支援ネットワーク講話

9月14日 日置署

9月22日 鹿児島西署

10月20日 南さつま署

10月31日 指宿署

12月 6日 鹿児島中央署

12月 7日 種子島署

12月11日 奄美署

2月 7日 曾於署

2月 8日 始良署

○ 警察学校専科講師

10月24日 被害者支援専科

(2) 各種会合への参加

○ 鹿児島県犯罪被害者等支援連絡協議会

- 7月 5日 (県民交流センター)
 - くらし安全安心県民大会
 - 8月 28日 (県庁)
 - 7者会議(県・警察・検察・保護観察所・法テラス・女性相談センター・センター)
 - 4月 19日 (センター)
 - 9月 6日 (県)
 - 12月 13日 (法テラス)
 - 事務局長等会議
 - 4月 21日 全国事務局長会議(東京)
 - 7月 7日 全国経理事務担当者会議(東京)
 - 9月 11日 九州ブロック事務局長会議(福岡)
 - その他
 - 5月 16日 交流センター運営委員会(県民交流センター)
 - 6月 9日 県男女共同参画センター相談業務研修会
 - 6月 14日 ワンストップ会議(県弁護士会)
 - 7月 7日 ワンストップ会議(県弁護士会)
 - 7月 7日 福岡犯罪被害者支援センター来訪
 - 7月 19日 ワンストップ研修会(県民交流センター)
 - 8月 30日 ワンストップ研修会(県民交流センター)
 - 11月 17日 暴力被害者支援セミナー(県民交流センター)
 - 1月 10日 みやざき被害者支援センター視察
 - 2月 23日 ワンストップ研修会(県民交流センター)
 - (3) 関係機関等への講師派遣
 - 7月 21日 県警察性犯罪指定捜査員研修会
 - 8月 17日 国際ソロプチミスト鹿屋例会
 - 8月 29日 県弁護士会司法修習生研修
 - 10月 7日 県医師会産婦人科医会研修
 - 10月 18日 国際ソロプチミスト鹿児島ー華南例会
 - 11月 9日 鹿屋市町内会研修
 - 11月 21日 国際ソロプチミスト鹿児島ー川内例会
 - 1月 23日 県犯罪被害者等支援連絡会議(県庁)
 - 2月 9日 熊本県多良木町地域パトロール隊研修
 - (4) 全国被害者支援ネットワーク緊急支援金申請受理 1件
- 3 被害者等の実態等に関する調査及び研究事業
- 全国犯罪被害者支援フォーラムへの参加

4 相談員・ボランティア支援活動員の養成及び研修事業

(1) 全国研修

- 8月4、5日 支援活動員研修会（東京）
 10月6日 全国被害者支援フォーラム2017（東京）
 10月7、8日 全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会（東京）
 1月18、19日 内閣府「性犯罪被害者支援体制整備促進事業研修（福岡）」

(2) 九州ブロック研修（2回）

- 7月8、9日 質の向上研修上半期九州ブロック（宮崎）
 1月27、28日 質の向上研修下半期九州ブロック（宮崎）

(3) ボランティア支援活動員継続研修（5回）

回	日時	内容	講師等
1	6月1日 10:00～12:00 13:20～16:00	(1) 電話相談ロールプレイ (2) 被害者支援に求められるもの ～トラウマ(PTSD)に視点をあてて～ (3) ポーランド・オーストリアの被害者支援	事務局 久留一郎教授 (鹿児島純心女子大学大学院) 餅原尚子教授 (鹿児島純心女子大学大学院)
2	7月5日 14:20～15:50	県犯罪被害者等支援連絡協議会講演会 「犯罪被害者の心理と必要な支援」	岡本 真寿美氏
3	8月29日 13:30～16:30	(1) 直接支援の方法 (2) 直接支援のロールプレイ (3) 警察における被害者支援	大野さおり氏 (NNVS 認定コーディネーター) 警察本部 宮元 一昭
4	10月20日 13:30～16:00	(1) 直接的支援の方法(初級編) ・直接的支援の基本・付添い支援の方法 (2) 直接的支援の展開(中級編) ・直接的支援を行う際に考えるべき課題 ・直接的支援の展開	事務局
5	2月22日 14:00～17:00	(1) 犯罪被害者の心の傷(トラウマ)と支援 をめぐって ～支援者のかかわりのありよう～ (2) 傾聴について 対人援助、カウンセリングの実務	久留一郎教授 (鹿児島純心女子大学大学院) 餅原尚子教授 (鹿児島純心女子大学大学院)

5 広報・啓発事業

(1) キャンペーン等の実施

- 7月30日 「ふれあい警察展」会場におけるキャンペーン（警察本部）

- 8月28日 くらし安全安心県民大会（県庁）
- 10月 3日 「犯罪被害者支援の日」街頭キャンペーン（天文館）
- 10月 9日 鹿児島市安心安全まちづくり市民大会（天文館一円）
- 11月25日 犯罪被害者週間オープニングキャンペーン（鹿児島中央駅）
- 11/25～12/1 犯罪被害者週間特別相談業務
- 11月29日 犯罪被害者支援フォーラム2017（県民交流センター）
- 12月 7日 ファンドレイジング（種子島）
- 12月 9日 そうしん鹿児島杉の子会による街頭募金（天文館）
- 12月11・12日 ファンドレイジング（奄美）
 - 2月 4日 「県民と警察ふれあいフェア」会場におけるキャンペーン（鹿児島市）
 - 2月16日 県主催「西郷どん」PR展示ブース会場における広報（アミュ広場）
 - 2月16日 ファンドレイジング（屋久島）

(2) 命の大切さを学ぶ教室の実施（13回）

- 4月28日 県立奄美高等学校（交通事故被害者遺族）
- 5月18日 県立隼人工業高等学校（殺人事件被害者遺族）
- 5月30日 薩摩川内市立海陽中学校（交通事故被害者遺族）
- 7月 6日 天城町立天城中学校（殺人事件被害者遺族）
- 7月14日 樟南高等学校（殺人事件被害者遺族）
- 7月25日 鹿児島第一中・高等学校（交通事故被害者遺族）
- 9月20日 県立南大隅高等学校（殺人事件被害者遺族）
- 10月 2日 県立加治木高等学校（交通事故被害者遺族）
- 11月13日 湧水町立吉松中学校（交通事故被害者遺族）
- 11月30日 霧島市立溝辺中学校（強盗事件被害者家族）
- 12月 8日 出水市立米ノ津中学校（殺人事件被害者遺族）
- 12月13日 長島町立川床中学校（交通事故被害者遺族）
- 12月20日 出水市立江内中学校（交通事故被害者遺族）

(3) ポスター、チラシ等の作成

センターニュース23号	2,300部
センターニュース24号	2,300部
リーフレット	9,000部
サポーターチラシ	7,000部
ポケットカード	10,000枚
フォーラムチラシ	10,000部
犯罪被害者週間ポスター	1,000部
広報用カレンダー	100部
広報用ボールペン	7,000本

広報用封筒（角2ピンク） 3,000 枚
 広報用封筒（長3ピンク） 3,000 枚
 返信用封筒（長3） 1,000 枚

(4) 広報媒体への広告掲載事業

南日本新聞広告掲載「賛助会員募集・相談窓口広報等」 2回
 南日本新聞広告掲載「フォーラム告知・賛助会員募集・相談窓口広報等」 1回
 南日本新聞広告掲載「ボランティア支援活動員募集・相談窓口広報等」 1回
 南日本新聞折込広報「フォーラム告知・賛助会員募集・相談窓口広報等」 1回
 鹿児島市交通局バス・電車内広告掲出「フォーラム告知・相談窓口広報等」 1回
 奄美新聞広告掲載「賛助会員募集・相談窓口広報等」 2回
 南海日日新聞広告掲載「賛助会員募集・相談窓口広報等」 2回
 南日本リビング新聞「賛助会員募集・相談窓口広報等」 24回
 南日本新聞フェア誌「賛助会員募集・相談窓口広報等」 24回

(5) ホームページ

ディスクロージャー更新 1回

6 相談員の稼働状況

(1) 相談事業（事務局相談員4名、ボランティア支援活動員数40名：計44名）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人員	112	106	113	111	107	105	109	109	105	104	105	113	1,299

(2) 直接支援事業（犯罪被害相談員7名、直接支援員10名：計17名）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人員	21	0	2	9	18	11	16	21	7	4	11	17	137

事業報告書については、本報告書のとおりであり、附属明細書の作成はありません。